



エントランス外観*

ソロー茨城(木質ペレットショールーム+社員寮)

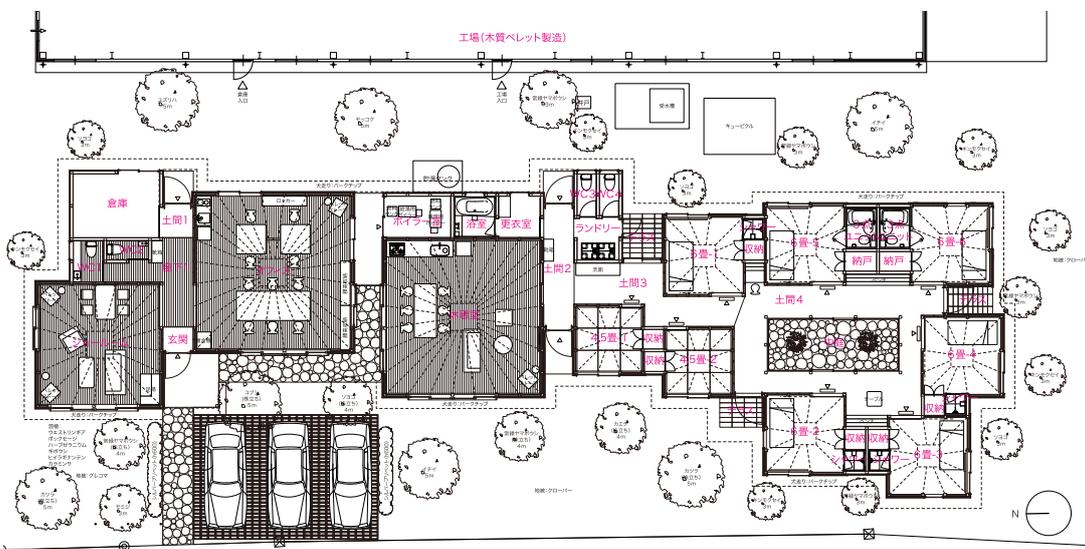
茨城県石岡市、先行して建てられた木質ペレットの工場に隣接する、ショールームと社員寮の計画。

この敷地は、電気以外の上下水道、都市ガス等のインフラが全くなく、周りには山があるだけという場所であった。私たちは、まず、井戸を掘り、除鉄滅菌して水を得、下水道の代わりに浄化浸透処理装置を設けることから始め、建物も、山から木を切り出して来て建てるという、建築の根源的な部分と向き合った。流通材を買ってくるのではなく、その地域にある山から木を切り、製材、乾燥し、構造材だけでなく、外装内装の仕上げ材、下地材など、建物の全ての部材を賄う。木の皮は、外構で使うパークチップ舗装にしたり、端の部分を丸太デッキにしたり、更には余った部分を粉碎して、ペレットにし、エネルギー源としてお湯をつくり、暖房給湯の熱源にする。全部で260本の原木を使用しましたが、自分たちで木拾いまでして、木の全てを使い切ることを考えた。

建物は、大小11個の家型をした部屋からなり、それをフラットな屋根でつないでいる。構造は、落とし込み板壁構造という、溝を切った柱に30ミリの厚みの木板を金物無しで緊結させて耐震壁にする構造形式をとっており、それをそのまま仕上げとしている。木の塊感を出す事で、外に積まれた丸太の山の力強さに負けない意匠を考えた。これは、断熱性も高く、内部の熱環境に寄与している。外壁は、15ミリの板を三層に重ねた、杉板シングル葺きとし、瓦のように細やかな意匠とすることで、素材感を出しながら、ペレットをイメージさせるつくりとしている。全ての部屋にはトップライトを設け、なるべく自然光だけで暮らせるようにしている。



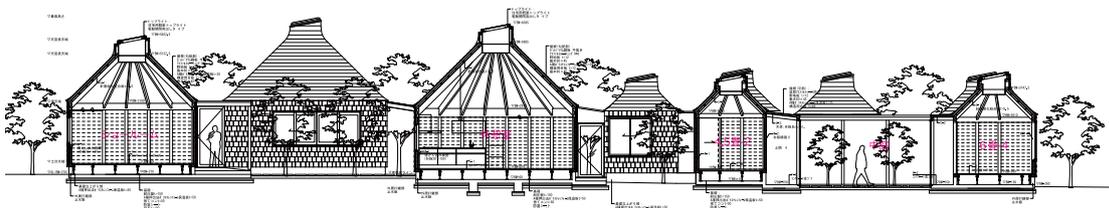
西側外観



平面図 Scale1:300



社員寮休憩室



断面図 Scale1:300

所在地 茨城県石岡市
 敷地面積 4,405.69m²
 建築面積 296.42m²
 延床面積 288.18m²
 構造/規模 木造(落とし込み板壁構法)・平屋
 建築設計 末光弘和+末光陽子/SUEP.
 構造設計 坪井宏嗣構造設計事務所
 施工 株式会社関根工務店
 設計期間 2014年5月~2015年6月
 工事期間 2015年7月~2016年1月
 撮影 中村絵写真事務所 (*はSUEP.)



ショールームからオフィスをみる



エントランスアプローチ



外観夕景

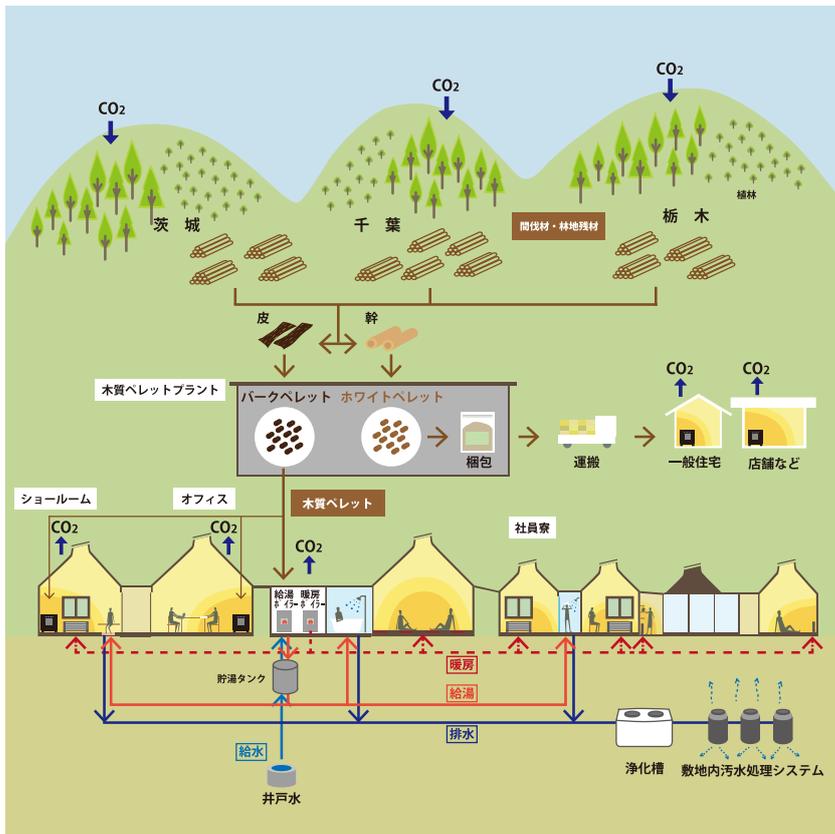


社員寮個室から中庭をみる



社員寮廊下

■木材資源の循環利用



地元の山から切り出した丸太(杉・檜)



ペレットで作られたお湯で足湯体験(ショールーム)



丸太から木質ペレットを生産



建物の給湯暖房を担う小型ペレットボイラー*



ペレットストーブの燃料として利用



800ℓの給湯タンク*

■260本の樹木を余すことなく使って建物をつくる

